

子ども警察議会開催！ 警察に関すること教えて！

10月20日（水）、志布志市役所志布志支所旧議会議事堂において、子ども警察議会G34が行なわれました。

G34とは、志布志市、大崎町の小・中学校総数34校を称して、学校（G）34としたもので、各学校の代表22名が一日子ども警察議員に任命され、一般質問を行ないました。

質問は、交通事故状況、薬物犯罪、暴力・インターネット犯罪防止など幅広い分野にわたり、警察署長をはじめ、各担当課長が答弁を行ないました。

「白バイはなぜ白い」「逮捕された際の食べ物は誰が払うの」など鋭い質問も飛び出しました。

ちなみに、白バイは当初赤色で赤バイと呼ばれていたようですが、昭和の始めにヨーロッパにならって白に統一されたそうです。



▲大丸小6年 ▲大崎中3年 ▲菱田中3年 ▲野方小6年
西柳裕太議員 福永聖香議員 俵積田玲議員 松田智樹議員



▲本町から4名が選出され代表で一般質問を行ないました。

おおさき未来検討会議が 提言書を町長に提出

本年度は、時代に適合する将来のまちの姿を示す新たな大崎町の10年計画を策定する年になっています。新たな計画の策定に当っては、町民の皆さんの提言や意見を取り入れた町民との協働による計画づくりを進めるため、おおさき未来検討会議（中倉和人会長他59名）を7月に設置しました。

おおさき未来検討会議は、公募等による町民と役場職員で組織され、これまで6回の会議を重ねこの度新たな計画に対する提言書ができあがり、10月28日（木）に行なわれた第7回同会議において町長へ手渡されました。

※提言書は、町のホームページでも公開されています。



▲おおさき未来検討会議の代表より町長に提言書が手渡されました。

黄金色に実った稲！ 稲刈りを体験しました！

10月12日（火）、持留小学校全児童は、校舎裏の授業用水田で、稲刈りを体験しました。

6月に植えた稲は、黄金色に染まり、地域の方々の指導のもと、かまによる稲刈りを体験しました。

2週間乾燥した稲を足踏み脱穀機とハーベスターを使い脱穀しました。

子ども達は、初めてみる足踏み脱穀機とハーベスターの作業スピードの違いにとっても驚いていました。

今後、精米された米を使った料理教室や年末に餅つき大会などが計画されているそうです。



▲黄金色に実った稲を刈り取り、収穫の喜び、食べ物の有り難さを実感しました！